

平成21年9月1日

各 位

株式会社 三井住友銀行

ツネイシホールディングス株式会社の「SMB C環境配慮評価私募債」買受けについて

株式会社三井住友銀行（頭取：奥 正之）は、ツネイシホールディングス株式会社（代表取締役社長：神原 勝成）の発行する「SMB C環境配慮評価私募債」を買受けいたしました。

三井住友銀行では、環境問題を重要な経営課題のひとつと認識し、地球環境保全と企業活動との調和に取り組んでおります。特に、地球環境の維持向上につながる商品の開発やソリューション提供は、金融機関として本業を通じ社会的責任を最も効果的に果たせる業務と考え、力を入れて取り組んでおります。

「SMB C環境配慮評価私募債」は、株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：木本 泰行）の作成した独自の評価基準に基づき企業の環境配慮状況を評価し、評価結果に応じた買受け条件の設定を行うとともに、環境経営における今後の改善余地を、簡易診断のかたちでご提供する私募債です。

今回対象となった、ツネイシホールディングス株式会社に対する環境配慮状況の評価結果は、「環境負荷の把握状況」「環境マネジメントシステム」の面で高い水準であると判断され、企業経営において一定の環境配慮を行っているとの評価となりました。

企業行動宣言や環境マネジメントシステムを連結決算対象の企業で展開され、環境負荷状況の把握及び低減のための仕組みを確立されている点のほか、環境に配慮した船舶の開発に着手されており、既に実用化されている環境配慮技術を複数保有されている点等が高く評価されました。

三井住友銀行では、「SMB C環境配慮評価私募債」により、環境配慮を進める企業の取組みを客観的に評価・診断することで、企業の環境配慮活動をご支援して参ります。



写真 ツネイシホールディングス本社/常石工場

以 上